

教育目標及び教育方針

1. 能登町教育の基本方針

(1) 基本理念

～「能登」の地と人に学び

未来を拓くたくましい力をはぐくみ “一歩前へ進む人づくり”～

(2) めざす人間像

- ①確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- ②責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- ③健康や体力の増進に積極的に取り組む、活力ある人間
- ④ふるさとに誇りを持ち、広い視野にたって社会に貢献する人間

(3) 教育基本方針

- ①まちの未来を担う人材を育てる学校教育の推進
- ②学ぶことに興味を抱ける生涯学習活動の推進
- ③郷土への愛着を醸成する地域文化・文化遺産の振興と継承
- ④健康で豊かな人間性を育てるスポーツ・レクリエーションの充実
- ⑤国際社会に対応できる人材育成と国際交流の推進

(4) 重点とする取組

- ①安全・安心な教育環境の構築
- ②学ぶことの楽しさを体得できる学習活動の工夫
- ③情報リテラシーの向上と生徒のスキルアップ
- ④地域の資源を生かした海洋教育の工夫改善
- ⑤外国語の学習意欲を高めるための授業実践の推進

第2期 能登町教育振興計画（抄）

本町のまちづくりの基本姿勢は「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐまちづくり」を基本目標に、これまでに進めてきた施策を未来につなぎ「未来の能登町を担う人づくり」を進めています。本町の教育においては「人づくり」を重要なものとし、本計画においてもめざす人間像，教育基本方針を定めています。

2. 柳田中学校経営方針

(1) 学校教育目標

「自ら学び、たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」

※新学習指導要領

「社会の創り手となり、よりよい人生を送るための資質能力の育成

※第3期 石川の教育振興基本計画 教育基本理念

「未来を拓く 心豊かな人づくり」

(2) 学校経営方針

- ①国・県・町の教育理念を踏まえ、豊かな心や郷土を愛する心や、新しい時代に必要となる力を育む学校づくりを目指す
- ②学校教育目標の実現に向け、教職員が連携し、協働的に教育活動に取り組む集団を目指す。
- ③生徒に確かな学力を保障するため、常に自己研鑽に励み、結果に責任を持つプロ意識の高い教師集団を目指す。

(3) 目指す生徒像

- ①何事にも向上心や目標をもってチャレンジする生徒 《進取》
- ②人を思いやる心もち、助け合う生徒 《協調》
- ③目標の実現に向けて粘り強く努力する生徒 《努力》

(4) 目指す学校像

「安心・安全な学校」「確かな学びを保障する学校」「地域から信頼される学校」

(5) 目指す教師像

- ①生徒の良さを伸ばし、生きる力を育むことができる教師
 - ・「励まし、させてみる、認める」この経験を成長につなげる
 - ・端的に明確で分かりやすく指導できる力を身に付ける
 - ・長所を認め、公平公正な評価を通して、子どもの意欲を喚起する
- ②指導力向上に努め、確かな学力を保障できる教師
 - ・1人1台のタブレット端末の使用法の研修と授業における効果的な利活用法の研究を推進する
 - ・教師としての専門性を高め、プロとして職務に従事する
 - ・この学習によって「何が分かったのか」「何ができるようになるのか」というアクティブラーニングの考え方に基づいた指導をする
- ③保護者や地域との信頼関係を築くことができる教師
 - ・社会に開かれた教育課程を推進する
 - ・教育公務員として、法令を遵守し、自覚をもって行動する
 - ・保護者と連携を密にし、積極的に情報の交流を図る。また、地域との交流体験を通してキャリア教育を推進していく
- ④教職員相互に連携し、協働的に教育活動に取り組むことができる教師
 - ・まずは個人個人が責務を果たすことで信頼関係を築く
 - ・指示を待つのではなく、自分の考えをもって相談する
 - ・目標を共通理解し、教職員のベクトルを合わせる
 - ・ワークライフバランスの取れた教育活動を推進するためにも、業務を一人で抱え込まず、相談しやすい職場環境を作り上げる

(6) 学校スローガン

笑顔 つなぐ 生き生きと！

～凡事徹底 「時を守り」・「場を清め」・「礼を正す」～

- ①教職員と生徒をつなぐ
- ②生徒と生徒をつなぐ
- ③教職員と教職員をつなぐ
- ④1年間をつなぐ
- ⑤学校と家庭・地域をつなぐ

(7) 取組重点

I 安心・安全な学校づくり

①望ましい人間関係づくり

- ・生徒に自分の良さに気づかせ、認め、励まし、伸ばす教育活動の推進
- ・学びあいや関わりあいを大切にした教育活動の推進
- ・生徒の自主性を育てる生徒会活動、学級活動、学校行事の推進
- ・QU、いじめアンケート等を活用し、全職員で早期対応、早期解決へ取り組む
- ・改定「生徒指導提要」を基に生徒の支援の視点に立ち、成長発達を支援しながら社会性の育成に努める

②道徳教育の推進

- ・「考え、議論する道徳」の授業の充実と授業スタイルの研究
- ・特別の教科道徳を基盤として、自己肯定感・自己有用感を高め、自分の良さに気づくことができる教育活動に取組
- ・地域人材を活用し、職業人講話などを中心としてキャリア教育を推進

③豊かな心を育む教育活動の推進

- ・ふるさとを愛する心を育むための地域行事への参加
- ・学びを深める体験活動の充実

④健やかな身体の育成

- ・望ましい生活習慣や食習慣のための啓発活動
- ・3点固定の指導（起床時間・就寝時間・家庭学習開始時間）
- ・体力アップ1校1プランを活用した体力の向上
- ・保健体育の授業や部活動指導の充実

⑤安全管理体制の充実

- ・職員の危機管理意識の高揚と報告・連絡・相談・記録の徹底
- ・感染症や地震に備えた連絡体制を整備
- ・校舎内外の安全対策の徹底と環境整備のため不要物を処理
- ・いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決のための組織的な対応
- ・個を大切にする教育相談体制の充実
- ・関係機関、いじめ対応アドバイザー、スクールカウンセラーとの連携

Ⅱ 確かな学力を保障する学校づくり

①組織的・継続的な学校研究の推進

テーマ「まなびを生徒にゆだねる」～発話量を減らす～

- ・学力向上ロードマップ・学力向上プランに基づくPDCAサイクルの推進
- ・端末を効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進
- ・授業スタイルの徹底による「授業のねらいの達成」の実践
- ・着ベルの開始とタイムマネジメントの徹底

②基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ・繰り返し学習や補充学習などによる個に応じたきめ細かな指導
- ・各種コンテストや各種検定合格を目指した取組の充実
- ・学習集会により、学習意欲の喚起
- ・正しい用語を用いて正しい表現力を身に付けさせるために、まとめ・振り返りの内容を検証

③よりよい家庭学習習慣・生活習慣の確立

- ・授業と連動した家庭学習の課題の与え方を工夫。また、その予習を生かした授業を展開
- ・保護者や小学校と連携した「ノー画面ウィーク」の実施
- ・eライブラリの活用の推進
- ・タブレット端末を家庭でも活用できる環境を整え、学習機会を保証

Ⅲ 組織力の向上・人材育成

①組織的な取組の推進

- ・主任を中心とした組織的な校内指導体制の確立
- ・課題、目標、方向性の共有による協働的な取組の推進
- ・教育活動や課題に対するチームでの迅速な対応
- ・「チーム学校」を機能化するための専門性の活用
- ・各種評価を生かした取組の改善

②職員の資質・能力の向上

- ・定期的な校内研修
- ・人事評価制度の活用
- ・全教員による若手育成プログラムの実践と検証

③業務改善による働き方改革の見直し

- ・業務の平準化、共有データの活用と蓄積、検索時間の短縮
- ・相互授業参観の設定。授業の改善点を伝えることによる授業力向上
- ・会議の目標時間の設定、ポイントを絞った提案
- ・月2回の定時退校日、平日1日週休日1日の部活動休養日の確実な実施
- ・ワークライフバランスのとれた教育活動の推進
- ・相談体制の充実と気軽に相談できる雰囲気づくり

IV 保護者や地域から信頼される学校づくり

- ①ホームページや各種便りによる教育活動の積極的な情報発信
- ②学校公開の実施、開かれた学校づくり
- ③地域行事や地域のボランティア活動への参加
- ④小中連携及び地域との連携を推進
- ⑤学校評価を生かした学校運営の改善
- ⑥学校、地域、家庭の双方向の情報交流による信頼関係の構築
- ⑦行事の精選と統合